

令和3年度当初予算への要望

【地域要望】

令和2年8月21日

豊田市議会自民クラブ議員団

○豊田市議会自民クラブ議員団 令和3年度当初予算への要望一覧

【挙母地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	崇化館	駅前東口拠点施設及び西口施設の整備	本市の玄関口である豊田市駅前には様々な集客施設があり、多くの人の笑顔や楽しい会話が聞こえてくる。賑わいや魅力的な空間が広がる芝生広場を含む東口拠点施設は、集客力、滞在時間を持たせる空間として意義があり、多様な活用が期待される。また、西口におけるペDESTリアンデッキやバスターミナル等の再整備により、豊田市の独自性を生かした新たな都市空間の創出を要望する。
2	継続	崇化館	名鉄豊田市駅舎の改修整備	現在の豊田市駅舎は1986年に開設しており、朝夕時には大変混雑し、各種イベント時も階段等に乗降客があふれ危険な状態であるため、北改札の新設等による人の流れの円滑化を望む。また、2026年アジア大会、2027年リニア中央新幹線の開業を見据え、駅利用者の利便性向上及び市の玄関口としての顔に相応しい駅舎の改修整備を要望する。
3	継続	崇化館	中心市街地活気ある事業所対策	新型コロナウイルス感染症拡大などにより、来街者や来客減少が続く中、事業者は厳しい時代を乗り越えて懸命な経営努力をしている。休業協力金の支援などもあるが、現実的には従来からの店主の高齢化や後継者不足などと重なり、空き店舗が増加する懸念がある。地域の景観を損ね、衛生問題や治安低下などを防止する意味においても、空き店舗対策補助金の活用を促して活気あるまちづくりを要望する。
4	継続	朝日丘	市道青木新生線の道路拡張	枝下用水～小坂若林線（市道青木新生線）約270m間は狭隘で、南部分は田畑で3～4m落差がある。対向車がある場合、待機を余儀なくされ、歩道も設置されておらず、自転車・歩行者との接触事故が懸念される。用地取得をすすめ、道路拡幅を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
5	継続	朝日丘	バス運行路線の新設	小川・細谷・朝日丘地区は、急激に高齢化が進み、生活の足としての公共交通が不便である。 バスやタクシー等の活用で文化ゾーン・市駅、土橋駅をつなぐ公共交通を要望する。 (豊田市駅～小川・細谷町～土橋駅)
6	継続	朝日丘	新生公園の早期整備・樹木公園の整備	新生公園は、第1次避難地として広域避難機能とともにスポーツ施設としての住区基幹公園である。近隣する樹木公園を含め整備を望む。地域の拠点となる避難所・スポーツ施設機能の充実を要望する。
7	継続	朝日丘	毘森公園整備	毘森公園は市街地中心部に位置する公園であり、災害時の広域避難場所に指定されている。公園設備の老朽化が進み再整備を望む声も多い。特に近隣住民からは治安面への意見が多数寄せられている。①公園内の見通しを悪くしている樹木の整備、②公園内の道路、歩道の整備、③公園内を流れる枝下用水への安全対策の3点を要望する。
8	継続	朝日丘	市道小坂三軒2号線改良の早期事業化	市道小坂三軒2号線は衣丘小学校北西角から市道三軒屋八ツ迫線までの区間で挙母揚水跡地である。当地域は朝夕近隣道路から多数の通り抜け車両があり危険性が高い。小・中学生の通学路の安全確保のための早期事業化が望まれる。幅員確保ができず市道開設が困難になった場合は、自転車歩行者専用道路として整備をすることを要望する。
9	継続	朝日丘	逢妻男川護岸の修理	普通河川逢妻男川の上流部の護岸擁壁老朽化が著しい。当河川は地域の雨水の受け皿ともなっており、近年多発する豪雨災害など地域住民の大きな不安材料となっている。擁壁部分の抜本的な修復工事を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
10	継続	豊南	安永川改修事業に伴う公園整備等	安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業の完了により、地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車が増加などが予想される。こうしたことを解消し、より安全・安心な環境を整えるため、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することを要望する。
11	継続	逢妻	市道豊田西部線の早期開通	みよし市三好ヶ丘と豊田市内を結ぶ市道福谷一色線は、交通量も多く幅員も狭く、小・中・高校生の通学路として、大変危険である。南バイパス工事が進む中で、バイパスと交差する、「市道豊田西部線」久岡町～三好ヶ丘間の早期整備を要望する。
12	継続	逢妻	広久手町地域広場整備	地域の唯一の広場で、子ども達の遊び場や高齢者の憩いの場所として多くの区民が利用している。しかし、地盤が悪く少量の雨でも使用できず、遊具の劣化もあるため、「地域ひろば」としての整備を要望する。
13	継続	逢妻	排水路整備	大雨の度に雨水が歩道に溢れ、通学の児童が危険である。また、付近の個人宅にも雨水が進入する状態であるため、緊急な対応を要望する。（東新町2・3丁目）
14	継続	逢妻	市道本地柿本線の拡幅（柿本町）	当該市道、柿本町2丁目交差点～柿本町3丁目交差点の区間のうち、一部区間は未整備である。また南バイパスとの交差点西側における県道宮上知立線までの柿本町地内は道幅が急減少し見通しが悪い。さらに、大規模住宅地建設により交通量の増加が見込まれるため、早期の拡幅を要望する。
15	継続	逢妻	基幹バス路線の拡充	現在、深田山地区の公共交通は、名鉄バスの豊田市駅西口～聖心寮前まで路線のみであり、自動車・自転車などを運転出来ない高齢者等は、病院、金融機関等への行き来に困っている。現在運行中の路線の土橋駅までの延伸を要望する。（豊田市駅西口～聖心寮前の延伸/土橋駅）

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
16	継続	梅坪台	上豊田駅周辺の土地区画整理事業の推進	上豊田駅周辺は第8次総合計画において、居住誘導拠点に位置付けられ、(都)浄水駅北通り線の4車線化、豊田北バイパス工事、区画整理事業による面整備など多くの事業計画がされ、また名鉄豊田線上豊田駅を含む整備が検討されている。道路整備や排水計画など上豊田駅周辺まちづくり事業の総合的な計画の策定を要望する。
17	継続	梅坪台	枝下用水幹線水路耐震工事に伴う周辺整備	枝下用水幹線水路沿線は、枝下緑地の都市計画決定を受けており、未整備区間に加え用水により地域が東西に分断されており、生活環境や地域コミュニティに与える影響が大きいため、水路工事にあわせた小・中学校の通学路、災害時における避難所への通路の確保など、周辺整備を要望する。
18	継続	梅坪台	梅坪中央公園再整備	梅坪中央公園は、愛環梅坪駅、梅坪台交流館に隣接し、平成16年、17年に都市公園として整備されて以来、地域の中核的な公園として様々な形で利用がされている。今後、梅坪台交流館と一体となった、地域の中核的な公園としての機能をより果たしていくための公園再整備を要望する。

【高橋地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
19	新規	高橋	平井小学校体育館を緊急避難場所及び避難所指定可能とする整備と関連する百々町線の延伸	現在、平井小学校体育館は体育館北側の土砂災害警戒区域指定されているため、緊急避難場所及び避難所指定がされておらず、災害時には体育館の使用ができない状況である。本来なら愛知県が整備を進めなければならないが愛知県の整備条件から外れているため、豊田市として整備を進め土砂災害区域指定を外し避難所指定にすることを要望する。また、土砂災害警戒区域指定となっている急傾斜地は、現在道路延伸が計画されている市道岩滝～百々線の道路法面であり、通学路の安全確保の面からも、市道と連携した早期整備を要望する。
20	継続	高橋	県道則定線の4車線化整備	現在の寺部区画整理事業に伴い、県道則定線の4車線化が進んでいる。要望課題とされている4車線化は高橋1号線までとなっており、その先の高橋2丁目交差点までの約210m～内環状線～外環状線までの4車線化を計画に伴いまちづくりの観点から寺部区画整理事業の完成予定時には目途をつけていただくよう要望する。
21	継続	高橋	県道則定線と市道高橋1号線への信号機設置	高橋の架替え・寺部区画整理事業に伴い高橋2丁目交差点手前から県道則定線が今後4車線化が計画されているが、中央分離帯が設置される事で高橋自治区の住民が分断されてしまうために、市道高橋1号線と県道則定線との接道へ信号機の設置を要望する。平成14年から始まった住民説明会においても強く要望され、現在の市道高橋1号線を拡張をした経緯も有る。現在は暫定的な交差点となっているが、確定を要望する。
22	継続	美里	高橋細谷線の4車線化整備	野見小学校西交差点から長興寺9丁目交差点の4車線化工事の早期完成を要望する。
23	継続	美里	県道細川豊田線の拡幅・改修	長年要望を出しているが、道路整備が進んでおらず、歩道がない区間もあり、生活道路、通学道路としても危険な状態である。歩道整備を含めた拡幅・改修の整備を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
24	継続	美里	市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備	高橋細谷線の4車線化整備に伴い交通量が増加傾向にある中で、豊田東高校に来る生徒が多く通学に使用している市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備の早期完成を要望する。
25	継続	益富	上野大見線の歩道整備	小学生の通学路になっている本線は、交通量が多い路線にも関わらず、歩道がなくガードレールも事故で変形をしている。子どもの安全な通学路を確保するため歩道整備を要望する。
26	継続	益富	国道301号整備（益富拡幅）	主要道路である301号の4車線化の早期事業化を要望する。（泉町2丁目交差点～松平橋インターまで）
27	継続	益富	古瀬間墓地公園線のT字路の交差点改良と信号機の新設	古瀬間町に新しく地域包括支援センター（地域包括支援センター益富の楽園）が完成し稼働開始した。地域福祉の中心的施設として、多くの車両が出入りし交通量が増加しているため、交差点改良を含め信号機の新設を要望する。

【上郷地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
28	継続	上郷	愛環北野柵塚駅周辺整備	①駅ロータリーの設置 ②駐車場整備 ③駅周辺の道路整備
29	継続	上郷	市道広美柵塚線の整備／柵塚東町	①拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良をすること。 ②市道広美柵塚線と市道東柵塚郷東線を結ぶこと。 ③市道東柵塚東線を柳川瀬公園内道路と結ぶこと。
30	継続	上郷	柳川瀬公園体育館改修	①体育館の改修 ②駐車場の整備 ③全体施設の再見直し
31	継続	上郷	広美町の三連水車の早期修繕	上郷地区のシンボルである「三連水車」は、子ども達を始めとする地域住民の憩いの場として利用されている。故障から3～4年経過し、本来の姿を待ち望んでいる。修繕を早急に要望する。
32	継続	上郷	柵塚西町の身近に憩える公園建設	1, 300世帯、3, 300人の自治区に遊具のある公園が1箇所しかない。子ども達の遊べる場所や地域の人たちの憩いの場所と大災害時の避難場所となる公園の建設を要望する。
33	継続	上郷	上郷大成町 家下川の堤防散策環境及び上郷藪間公園との整備	家下川の藪間公園沿いで地元有志の活動により蛍が最近飛び交う。子ども達が水に触れられるように環境整備を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
34	継続	末野原	県道本地鷺鴨線大林町12丁目交差点の建物撤去	県道本地鷺鴨線大林町12丁目交差点に屋台の店舗が4軒あるが、営業を行っている形跡がなく、建物も老朽化し、防犯上・防火上そして環境的にも問題があるため、愛知県に対し早期撤去を市からも強く要望していただきたい。
35	継続	末野原	豊田市挙母南部地区に体育館の建設（末野原地区他）	豊田市挙母南部地区（豊南・末野原・竜神）に在住する多くの市民の「するスポーツ」を支えるためにも、当地区に地域型スポーツ施設の整備として地域体育館の建設を要望する。
36	継続	末野原	永覚町の愛環永覚駅周辺一帯の土地利用整備推進（周辺開発・道路・通学路の一帯整備）	永覚駅の駅ロータリー設置・駐車場整備（駐車場追加）・駅周辺道路整備（駅南側道路は狭くて暗くて危険）・宅地開発などによる利便性向上及び、平子地区の児童の通学路・生活道路における平子橋北側の明治用水沿いの道路拡幅対策などの早急な安全対策等、開発や道路新設も考慮した周辺一帯の土地利用整備を要望する。
37	継続	末野原	三河豊田駅前広場の改修	現在、愛知環状鉄道三河豊田駅の駅前広場には噴水が設置されているが、年間を通して水は流されてなく、多くの樹木もあり、駅前広場としての機能を阻害している。また、地元住民による「三河豊田駅前広場を考える会」も設立され、交通結節点機能を高める駅前広場の全面改修を後期実践計画に確実に盛り込むことを要望する。
38	継続	末野原	渡刈町内の宝蔵川周辺の法面・護岸拡幅等工事による住宅地・田畑等の早急な浸水防止対策他	渡刈町地内の宝蔵川周辺の急斜面法面の草刈り対策及び集中豪雨時の住宅地・田畑等の早急な浸水防止の護岸拡幅等工事の実施を要望する。
39	継続	末野原	明治用水暗渠化と上部利用及び周辺整備（鷺鴨町他）	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウォーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鷺鴨・永覚の各自治区内は整備されていない。従って、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の早期着手及び、地域要望を取り入れた上部利用及び周辺整備を要望する。

【高岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
40	継続	高岡	都市計画道路の事業化（若林西町・若林東町）	<p>地区内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。</p> <p>現在、若林駅周辺では土地区画整理事業が計画されている中で、周辺には都市計画決定されたまま一部のみの事業化で全線事業化がされていない。</p> <p>将来に向けて、若林駅を中心とした拠点地区周辺での都市計画道路の全線整備は、南部地区のまちづくりに大きな効果をもたらす。</p> <p>また、鉄道駅周辺は宅地等の要望が多く、安定した税収を確保するためにも生活の基盤となる道路の早期整備が重要となる。</p>
41	継続	高岡	若林東町上り戸（六ツ辻）交差点の改良（若林東町）	<p>当初この交差点は、「若林駅周辺土地区画整理事業」において事業計画地区内であったが、諸事情により事業計画地区外となり、別事業として進められる事となった。</p> <p>しかし、未だその計画については示されてはならず、土地区画整理事業・三河線複線高架事業やその他周辺道路整備が進み交差点周辺の渋滞が緩和され交通の流れが良くなっても、元々この交差点は変則であることからさらに危険な交差点となることが予想されるため、周辺で進められている事業（区画整理・鉄道高架など）にあわせて、あるいはそれよりも早く交差点改良を要望する。</p>
42	継続	高岡	若林神社前交差点改良 及び 若林花園線の拡張（若林西町）	<p>若林神社前交差点は、北方面からの車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先に変形交差点（六辻交差点）があつたりするため渋滞が発生する。</p> <p>J Aの店舗もあり、近隣地区より車で人が集まるので隣接する若林駅周辺の土地区画整理事業の事業化待ちでは遅く、事故等が発生する前に対応して頂きたい。</p> <p>また、交差点には歩道橋もあるが子どもたちの通学路としては使われておらず、車等の視界の妨げとなっているため、撤去する必要がある、早期に整備を要望する。</p>
43	継続	竜神	名鉄三河線竹村駅の利便性の向上と踏切の渋滞対策	<p>現在の竹村駅は駅前のスペースが少なく、特に雨天時には、送迎の車の出入りで混雑しており、大変危険な状態となっている。名鉄三河線の複線化にあわせ、乗降客の利便性の向上と安全対策、そして踏切の渋滞対策を要望する。</p>
44	継続	竜神	トヨタ上郷工場南側の市道の拡張（市道竹下和会線）	<p>豊田工業高校の生徒が通学路として使用しているトヨタ自動車(株)上郷工場南側の市道（市道竹下和会線）は、道路幅が狭いにもかかわらず、近年通過交通が増加の傾向にあり、非常に危険な状態にある。道路幅を拡幅し、通学で使用する自転車が安心して利用できるスペースの確保を要望する。</p>

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
45	継続	竜神	竹村小学校区の公共交通機関の空白地域の解消	竹村小学校区は、名鉄三河線竹村駅はあるものの、公共交通機関の空白地がある。高齢化により運転免許証を返納する高齢者が増加する中で、病院や商業施設に通う自家用車に代わる日常的な足を確保する必要がある。地域バスやデマンド交通など多様な手法を活用した、公共交通システムの導入を要望する。
46	継続	若園	(都)西岡吉原線道路の整備促進	中根町地内の名鉄三河線踏切～吉原町地内(4-2工区)までの都市計画道路である西岡吉原線の道路新設に向けて、早期事業化を要望する。
47	継続	若園	若園交流館の再整備事業	地域住民とのワークショップにより、交流館全体の具体的な形が見えてきた。今後は現在進められている基本設計・実施設計に基づき、当初予定通りのスケジュールで進めてほしい。また、仮設交流館についても地元利用者の意見を聞いた上での進行を要望する。
48	継続	前林	高岡公園周辺広場の魅力ある施設としての整備	高岡公園の北東に位置する、既存の前林ふれあい広場と未整備用地を合わせた面積約1.5haの公園区域を、地域の小・中学生がスポーツを楽しみ、また地域住民が憩いふれ合える広場として、地域意見を取り入れながらの計画作成及び早期整備を要望する。
49	継続	前林	都市計画道路の早期整備と周辺環境整備	都市計画道路豊田刈谷線、西岡吉原線着工に向けた事業の推進と、愛知県整備区間の早期整備。また物流企業の増加、刈谷SIC開通等による影響を考慮した生活道路等の周辺環境の整備と対策を要望する。
50	継続	前林	高岡ふれあいバスの利便性の向上	現在のふれあい高岡路線のルート、ダイヤの見直しによる利便性の向上。また、通学・通勤・買物等さらなる利便性を向上させるための土橋駅延伸へ向けた乗降を調査する実証実験を要望する。

【猿投地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
51	継続	保見	市道伊保貝津線の整備促進	現在、県道名古屋豊田線が毎日、朝夕渋滞し、地域住民の生活に影響が出ている状況である。また、伊保町にあるトヨタ紡織が工場の増設により出入する車両等も増える見込みである。市道整備により、県道の渋滞緩和と歩車分離が進み、地域住民の安全確保ができるため、市道伊保貝津線の早期整備と延伸を要望する。
52	継続	保見	児童公園の増設（保見町南山・篠原町）	現在、保見町には児童遊園が1つ、地域広場が2つ設置されているが、保見町南山地域には児童遊園も地域広場もない。また篠原町には児童遊園も地域広場も無い。子ども達の遊び場を作ることは安全確保につながり、また災害時の住民避難場所となるため、大規模災害時の避難場所を兼ねた児童遊園（ちびっこ広場）の新設を要望する。
53	継続	保見	保見マレット場の増設（9ホールの増設）	現在のマレット場の規模では利用したい市民の全要望に応えることができない状況である。保見マレット場には保見地区だけでなく、市内全体から市民が訪れるため、毎日の来訪者の人数と場内の駐車スペースがアンバランスとなっており駐車場所がなく危険な状況である。保見マレット場の隣地取得を行い9ホールの増設を要望する。
54	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通 ①（都）猿投学校通り線 ② 国道419号4車線化 ③ その他豊田市北部の都計道等幹線道の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通 （都）猿投停車場線、（都）名古屋豊田線（県道）、（都）御船花本線（県道）、市道大釜鳥坂根線	（都）猿投学校通り線の早期実現を最優先事項、豊田市北部の都計道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通は旧市との交通網の整備、北部の生活環境整備、各公共施設・準公共施設・工業施設誘致施策等にも重要である。これらを踏まえた政策的な道路整備の推進を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
55	継続	井郷	布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の親水公園整備	水と緑のまちづくりのために布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望する。
56	継続	井郷	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備、および旧名鉄路線式を活用した山間地への鉄道構想の取組	猿投駅は北の玄関鉄道駅として位置づけられているが、現在はアクセス道路が全く無く整備されていない。その改善と運動公園利用者を増やすためにも、名鉄の運動公園までの延伸と、パークアンドライド用駐車場の整備（駐車場用地の早期取得）、また豊田市に移管された線路敷地の利活用により鉄道による山村振興、観光資源の再建に資する取り組むべき事を切に要望する。
57	継続	井郷	北部給食センター移転に伴う跡地利活用について地域要望実現にむけた支援と調整	北部給食センター移転に伴う跡地利活用について地域との要望意見を主体とした利活用の推進の支援と調整の徹底を要望する。
58	継続	石野	おいでんバス「さなげ・足助線」経由地変更	おいでんバス「さなげ・足助線」は旧三河線広瀬駅から石野運動公園を經由してカ石へという路線となっている。現路線から三河広瀬駅から上切広斎寺・小峰口・下室を經由する路線の早期実現を要望する。 現路線は人家も少なく、利用者の少ない路線となっている。 要望路線では石野地区3,666名のうち、1,428名、43%が生活し、利用者増が一番望めるコースであり、石野地区が直面する過疎化対策・人口増対策としても大変有効であり、路線早期実現を強く要望する。
59	継続	石野	通学路の整備（自転車共用）	通学路の歩道の設置（自転車共用）、国道153号の勘八町勘八交差点からカ石インター東交差点までの歩道整備。秋には香嵐渓方面への渋滞箇所で大変危険である。地域の子どもの命を守る為の早急な整備を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
60	継続	石野	石野中学校への進入道路の確保	石野中学校は、緊急時に市民の避難所として指定されているが、国道153号からの正門進入路に限られているため、災害により進入路が絶たれた場合にも避難所の安全確保と地域住民の命を守る整備を強く要望する。
61	継続	猿投	加納～西中山の道路拡幅(市道落合向山線)	本事業は平成29年度に事業着手し、用地買収率99%で、令和元年度に一部工事着手した。沿線には高齢者施設(特別養護老人ホーム猿投の楽園)が立地するとともに大規模開発の計画が進みつつあり、早期の整備が必要である。引き続き事業進捗を図り、早期の工事完了を要望する。
62	継続	猿投	名勝旧龍性院庭園の早期事業化	旧龍性院庭園は、平成29年に国の文化財指定を受け、平成29年～30年で保存活用計画がまとめられた。今後の展望を明確にするとともに早期整備着手を要望する。
63	継続	猿投	国道419号の4車線化事業	本路線は、豊田市中心部と瑞浪市を結ぶ幹線道路であり、近年朝夕には与茂田交差点～亀首児童交差点が渋滞している。現在、四郷区画整理事業に合わせ順次整備するとのことを聞いているが、早期事業化を要望する。
64	継続	猿投台	勘八公園・前田公園整備推進	勘八公園は昭和57年に都市公園と位置付けられているが事業がストップしている。また、前田公園は市民広場の位置づけであるが、都市公園と位置づけ、公園としての機能を高めてほしい。これにより民芸館、民芸の森との連携強化により集客が期待できる。特に勘八公園については、総合計画後期実践計画に位置付けを要望する。
65	継続	猿投台	名鉄越戸駅の周辺整備及びバリアフリー対策推進	北バイパス事業に合わせて、計画的に整備をするよう要望する。同地区は都市計画決定をされており、迅速な対応を望む。あわせて、高齢社会に対応するため越戸駅にエレベーターの設置を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
66	新規	猿投台	矢作緑地平戸橋周辺整備事業	平戸橋から荒井周辺までの矢作川周辺右岸について一体性を持たせた緑地公園としての整備を要望する。猿投台地域会議では、まちづくりビジョンを策定し、地域が主体となって河川敷の整備活動を展開している。行政任せではなく、まさに共働の精神に基づいた市民活動を展開している。

【藤岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
67	新規	藤岡	藤岡地域核エリア整備	藤岡支所・藤岡交流館を中心とした藤岡地域核エリアの整備について、都市再生整備計画が令和2年度を最終年度として終了するが、令和3年度以降の藤岡地域核整備に向けての予算計画はない。 飲食店など商業店舗が減少を続け、子育て世代が他地区へ移り、人口減少、高齢化が進む中、支所および交流館が整備されたこの時期に、藤岡地区として日常生活を支えるために必要な生活機能を整理し、地域核および居住促進地区としてのビジョンを示す計画の策定を要望する。
68	継続	藤岡	市道藤岡飯野広瀬線改良整備	市道藤岡飯野広瀬線は歩道もなく、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされている。また、本線の改良整備はグリーンクリーンふじの丘建設時の地元住民の約束条件であるため、早期の整備を要望する。
69	継続	藤岡	新設市道の整備（北一色～迫～深見）	藤岡飯野交差点の慢性的な渋滞を回避するための新設道路を要望する。
70	新規	藤岡南	国道419号辻貝戸交差点改良	小学校児童の通学時の安全確保をするため、早期に歩行者専用の信号設置を要望する。
71	継続	藤岡南	国道419号バイパスの早期着工	国道419号西中山地内の渋滞緩和のため、早期着工を要望する。 （令和元年8月24日国道419号4車線化整備促進期成同盟会を設立）
72	継続	藤岡南	国道419号深見常楽交差点（西側）歩道設置	小・中学校の通学路の安全確保のため早期設置を要望する。

【小原地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
73	継続	小原	豊田小原和紙の国際化への取組 (永太郎町ほか)	2020年豊田国際紙フォーラムの開催が新型コロナウイルス感染症の広がりによって1年順延になった。今後、令和3年度の開催に向けて、豊田小原和紙工芸の世界に向けた情報発信や産業化、市民の国際交流の促進が図れるよう今一度、事業の企画・PR及び実施に向けての全市的な展開を要望する。
74	継続	小原	四季の回廊整備事業の促進（川見町、北大野ほか）	四季の回廊ミュージアム構想は、第7次総合計画に位置付けられ順次整備が進められてきた。 この構想は、地域資源を活かした観光交流拠点施設の整備事業であり、地域の活性化に欠かせない。 鳥屋平園地は令和2年度に整備終了予定だが、今後も川見四季桜の里の整備について、第8次総合計画の後期実践計画への掲載も含めて整備継続を要望する。
75	継続	小原	市有財産を活用した住宅、宅地整備（永太郎町、小原町）	旧老人憩いの家、平成29年度に取壊された旧小原郷土館など、おいでん・さんそんビジョンに位置付けられた取組に基づいて未利用な市有財産を活用し、若者移住、若者定住の促進を図るための住居、宅地の整備を要望する。令和2年度は「おいでん・さんそんビジョン」の最終年であり、特に旧小原郷土館跡地の市有財産を早急に若者定住宅地として整備することを要望する。

【足助地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
76	新規	足助	山村地域を守る交通システム整備事業	急激な人口減少や後期高齢者の増加、地域バスの乗務員不足が続く山村地域に適応した持続可能な交通システムの確立を要望する。地域の生活に欠かせない移動手段を、多様な手段で確保することで、高齢者等交通弱者の自立した生活の支援と積極的な社会参加に繋げ、山村地域で暮らすあらゆる人の健康づくりと住み慣れた地域での快適な暮らしを実現する。
77	新規	足助	足助地域核エリア再生事業	平成30年度に始まった本事業により、持続可能な山村地域への転換を目指し、足助地域核エリアを中心に、空き家等を活用した事業創出やまちづくりの担い手の確保に取り組んでいる。本事業を確実に進め、足助地域核に生活機能を維持し、地域を活性化させる上で重要な拠点として再生させることを要望する。
78	継続	足助	公共施設跡地等の未利用地の有効活用	足助バイパス残土捨て場（富岡町）や老人ホーム跡地（近岡町）、足助保健所跡地（親王町）を始めとした公共施設跡地等の未利用地の有効活用が様々な要因で進捗していない。地域にとって有意義な活用方法の早期立案を要望する。
79	継続	足助	新盛里山耕第2期計画の早期着工と拠点施設「道の駅」建設	新盛里山耕は「里山くらし体験館ーすげの里ー」を拠点施設として「里山耕流塾」など都市と農山村の交流事業を展開している。平成19年に策定された山村活性化事業「里山耕」基本計画では、第2期拠点施設の建設が計画されているがリーマンショック等の影響で実現に至っていないことから早期の計画実現を要望する。

【下山地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
80	継続	下山	三河湖左岸道路の整備（羽布町）	当区間は昭和30年代から砂防堤等の治山工事が行われており未舗装の状態である。三河湖左岸道路は現在作成中のしもやま観光プランにおけるスポーツツーリズムの核となる三河湖の観光の要であり、下山地区の観光には必要不可欠である事から、下山ニタ瀬草木線の未舗装区間の舗装整備を要望する。
81	継続	下山	トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴う宅地整備	人口減少が著しい地域で、トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴い3,500人の従業員が働く事になる。地域の人口減少に歯止めをかけるためにも従業員を呼び込む下山地区を中心とした住宅用地の整備を要望する。
82	継続	下山	三河湖観光センターの建て替え（羽布町）	三河湖観光センターは下山の観光の核となる施設であるが、老朽化し耐震化やバリアフリー化がされておらず、浄化槽も合併処理浄化槽にもなっていない。早期の建て替えを要望する。

【旭地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
83	新規	旭	第2次まちづくり計画に基づいた中心市街地の再構築	人口減少が続く旭地区において、商業・医療の中心である小渡町地区について、AI・IoT技術を活用した再整備を行うよう要望する。 観光まちづくり、日常品の買い物支援、遠隔医療・介護、公共交通の利便性を高めるなどをテーマとして、地域で安心して暮らし続けられる中山間地域版スマートシティのビジョンを策定する必要がある。
84	新規	旭	健康まちづくりの推進	旭地区の高齢者が安心して、生き甲斐を持って暮らしていける仕組みづくりを要望する。 高齢者の状況を把握し、サポート体制を構築することで、高齢者の健康寿命の延伸を図り、併せて福祉医療に係る経費を抑制していく。 については、コンシェルジュ事業や関連事業の予算を確保し、事業の充実を図っていく必要がある。
85	新規	旭	花の里づくり事業の推進（旭高原元気村）	新型コロナの出口戦略として、地域経済を活性化させるために観光業等の振興を図るよう要望する。今後旭高原元気村は花の里づくり事業の拠点として整備を推進する予定である。 旭高原を活気づけることで地元関係業者等の経済活動も活性化することが期待される。 あわせて周辺にある矢作ダム、奥矢作湖、小馬寺などの観光資源も活用し、相乗効果を図っていく必要がある。

【稲武地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
86	継続	稲武	「重点」道の駅「どんぐりの里いなぶ」を核とした総合的なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・重点道の駅の整備を進めていく上で、国に対して交付金・補助金の優先的支援を要望する。 ・市は、重点道の駅を核として、道の駅の機能拡張や周辺の整備を進め、併せて稲武地域全体のまちづくりを進めることを要望する。
87	継続	稲武	世界ラリー選手権を活用した地域振興策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・大会の成功に向け、主催者、地域、関係機関、行政が一体となった緊密な連携協力体制の構築を要望する。 ・時間的制約がある中、レース観戦ポイント等の早期整備を要望する。 ・大会開催を契機として、「ラリー開催の地いなぶ」を合言葉とした中・長期展望に立った観光産業振興策の展開を要望する。
88	継続	稲武	雇用と定住をセットとした施策の展開	<p>※人口減少に歯止めがかからぬ中、若年人口の減少は深刻で、近い将来、担い手不足による地域力の更なる低下が懸念される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用環境が厳しいため、「定住」と「雇用」をセットとしたI・U・Jターン施策の展開を要望する。 ・特に「雇用」面では、稲武の地域資源やまちの特性に着目した、サテライトオフィス、木質バイオマス（木の駅プロジェクト）活用、6次産業化関連企業誘致を軸とした取組の展開を要望する。